

3-8 授業情報技術講習会

本講習会は、コンピュータ・ネットワークを活用した教材・資料の作成及び提示など、教員による初歩的な情報技術の修得・理解の促進を目的としている。多くの参加希望が寄せられていることから、本年度は、開催規模を拡大し、基礎コースを東京、神戸、福岡の3会場、応用コースは大阪1会場で開催した。

(1) 開催要項の決定

13年度と同様、プレゼンテーションツールの基本操作を修得する基礎コースと、プレゼンテーションに関する動画の加工・編集を修得する応用コースを設定し、参加者の技術水準と興味対象により選択することとした。基礎コースでは、例年多くの参加希望が寄せられており、規模を拡大するため、衛星通信を利用した遠隔講義形式で、同時に3会場での講義を行うこととした。

平成14年度授業情報技術講習会開催要項

日時：【基礎コース】平成14年8月26日(月)～8月28日(水)
【応用コース】平成14年8月29日(木)～8月31日(土)
会場：【基礎コース】[関東会場]：東京電機大学神田キャンパス
[関西会場]：甲南大学
[九州会場]：福岡大学七隈キャンパス
【応用コース】[会場]：大阪電気通信大学

1. 目的

この講習会は、受講目的、経験に応じてテーマを設定し、コンピュータ、ネットワークを活用した教材・資料の作成および提示方法などを実習により修得し、教員の方々に情報技術の理解をいただくことを目的とします。本年度は募集規模の拡大を図り、8月に限定して開催します。基礎コースは同一プログラムにより、関東、関西、九州地区にて同時開催いたします。

2. 受講対象者

当協会加盟大学・短期大学の専任教員ならびに情報技術を使用して教育支援を行う専任職員の方

基礎コース「プレゼンテーションツールの基本操作」

授業にコンピュータ等の活用を考えている教員で、ワープロなどの操作技術をあらかじめ修得している方を対象とします。

※コンピュータに関する基本用語の理解、キーボード・マウスなどの基本的な操作技術があることを前提に講習します。

応用コース「プレゼンテーションに関する動画の加工編集」

既にコンピュータを用いた教材作成を実践している教員で、プレゼンテーションソフトなどの操作方法を理解している方を対象とします。

※コンピュータ、MS-Windows、MS-Office等について基本的な理解があり、一通りの操作技術があることを前提に講習します。

3. 講習内容

各コースとも、授業における情報技術の活用について、概念理解から教材作成、提示・プレゼンテーションの方法まで一貫して講習します。

【基礎コース】

実際の授業で活用できる初歩的な情報技術、例えば、グラフや写真などの画像と文書を合成・編集し、掲示する技術などについて、実習を中心に行います。

【応用コース】

授業でのプレゼンテーション効果を高めるための技術、例えば、動画像などを盛り込んだ教材、資料の作成技術について、実習を中心に行います。

4. 講習プログラム

各コースとも実習中心の講習を3日間で行います。

【基礎コース】

1日目：8月26日（月）

10:00 講習

プレゼンテーションの基本と効果

マルチメディア教材によるプレゼンテーションの目的、用途、種類
効果的なプレゼンテーションと評価法

13:00 実習

プレゼンテーションツールの基本操作

プレゼンテーションツールの基本操作、スライド作成の基本技術
効果的なスライド作成（アニメーション、スライドショーなど）

15:30 実習

プレゼンテーションの表示、表現技術の基礎

2日目：8月27日（火）

10:00 実習

画像の取り込みと編集の基礎

画像の取り込み

画像の加工

13:00 実習
編集、貼り付けと効果
画像、文書、表計算などの編集と教材作成
効果的なプレゼンテーション

15:30 実習
目的別の教材作成
プロジェクタ、モニターなどによる教室提示用教材
印刷、配布用教材
Webページ用教材

3日目：8月28日（水）

10:00 実習
Webツールの基本操作方法
インターネットを利用した教材作成の実践（解説）
HTMLツールによるWebページの作成

13:00 実習
Webツールによる教材作成
画像の取り込みと加工
Webページのデザイン

15:30 実習
プレゼンテーション教材・Webページ教材の作成実習
プレゼンテーションの実際と授業の進め方
Webページの教育への利用法と評価法

【応用コース】

1日目：8月29日（木）

10:00 講習
映像を取り入れたプレゼンテーションについて
動画像技術の実際（著作権問題も含む）
効果的な表現技術（画像・映像の技術と効果）

13:00 実習
動画像の基本操作
ノンリニア編集とDV編集ツールの基本操作
教材、資料の提示と方法、種類と効果

15:30 実習
動画像の基本操作
パソコンへのデータ取り込み
DV編集技術の基礎

2日目：8月30日（金）

- 10:00 実習
動画像の編集(1)
加工・編集ツールの基本操作
- 13:00 実習
動画像の編集(2)
素材データの加工と編集
- 15:30 実習
教材作成
動画像を取り入れた教材の作成

3日目：8月31日（土）

- 10:00 実習
Webページへの応用
インターネットを利用したマルチメディア教材作成の実践（解説）
マルチメディアによるWebページの作成
- 13:00 実習
マルチメディアWebツールによる教材作成
ストリームソフトウェアによる動画像教材の作成
VOD、ビデオクリップの利用法
- 15:30 実習
WebページとDV教材の利用法と評価
DV教材の授業への効果的な利用法
自学自習のためのDV教材の効果的な利用法

（2）開催結果及び次年度開催計画の検討

参加者数は基礎コース149名（東京会場：74名〔41大学、4短期大学〕、関西会場：49名〔28大学、3短期大学〕、26名〔10大学、1短期大学〕）応用コース70名（45大学、7短期大学）の総勢219名であった。

本年度は、基礎コースで初めての試みとして、衛星通信による講義の同時配信を行った。甲南大学及び東京電機大学に講師を配し、単元毎に講師が交代で講義を行い、他の2会場に配信した。講師の操作画面を衛星通信にて配信する場合、そのままでは画像が圧縮され画面上の細かい野線等が見辛くなるため、講師の操作に合わせてパソコン画面を接写するなど、良好な映像を得るためにカメラワークにより対応した。一方、アプリケーションの仕様が会場ごとに細部で異なっており、受講者の混乱を招くケースがあった。

次回は、通常の対面型式での講習会に加え、より多くの教職員に教材作成技術の学習機会を提供するため、いつでもどこでも利用可能なeラーニング教材を開発し、全国規模での教員講習を実験的に実施する予定である。